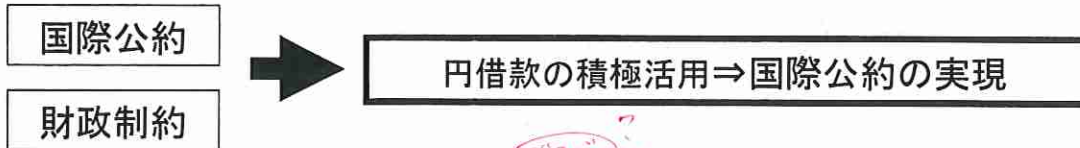


1. 円借款の課題

課題(1) 円借款によるODA量の確保

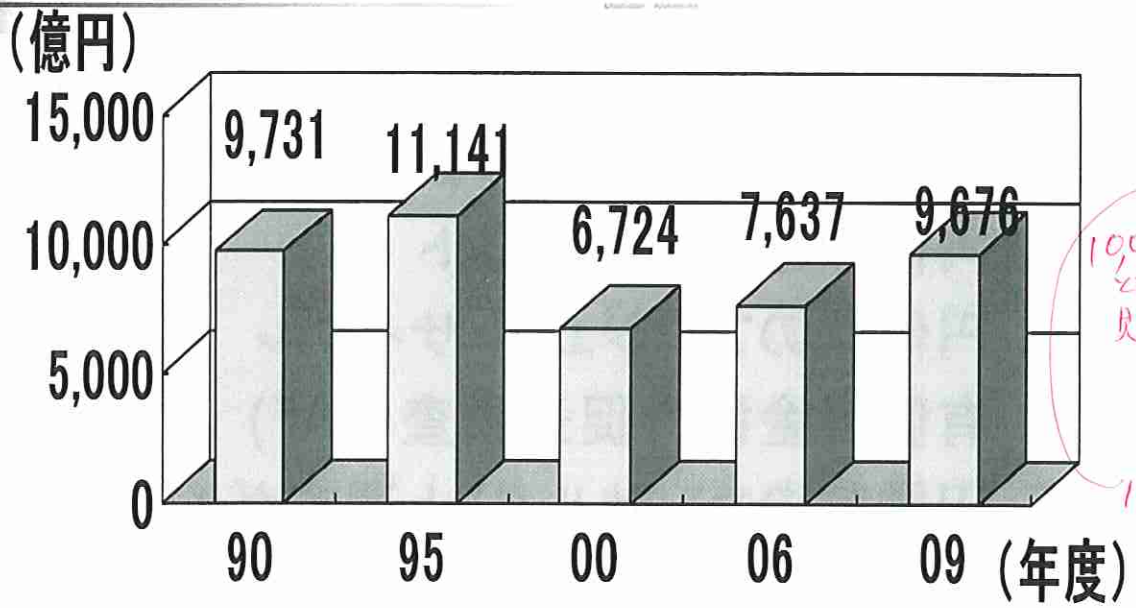


左の取捨公約

1. イラク支援 50億ドル(無償15億ドル、円借款35億ドル) *はりつけみ?*
2. 鳩山イニシアティブ円借款 5年間で5千億円
3. アフリカ向け低利円借款 5年間で40億ドル *→ 円借外債: 2013年以降*
4. 金融危機対応の円借款 3年間で3千億円
5. アフガニスタン支援 5年間で50億ドル *(無償)*

円借款をいれ
simplen

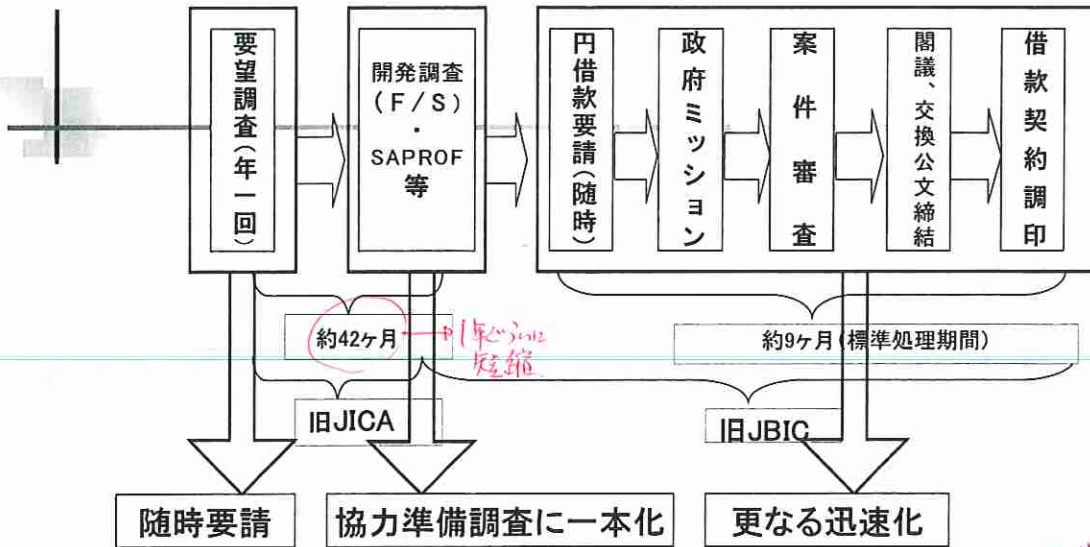
円借款の承諾額推移



10000超
とある
見直し
10年

• 円借款の規模は2000年以降増大(無償、技協の落ち込みの補完)

課題2. 案件形成期間の短縮



- 借款契約まで4年半かかる案件形成期間を半減する
- 政府への要請を簡便化
- 3スキームの一体運用

!!
全部で2年になる!!

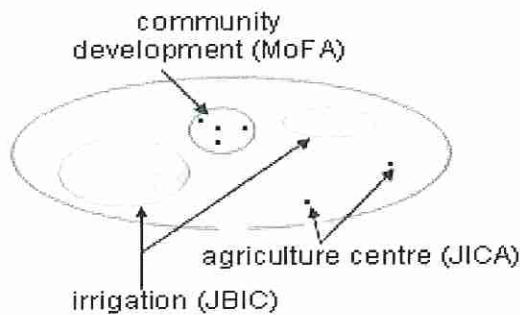
どう半減する?
① 要望調査をやる
②
③ プログラム化

課題3. ODAスキームのプログラム化

Effective ODA with three types of aid.

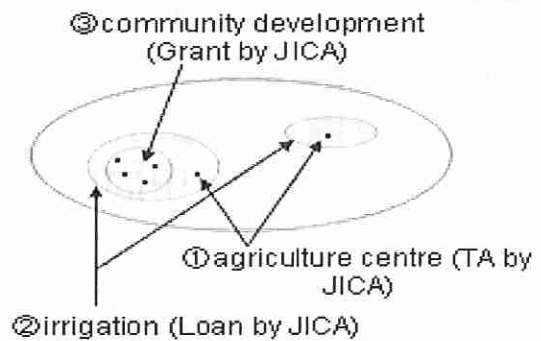
Japan's ODA to country A

Present



Individual operation

After



Sequence operation
Under one Country Director

スキームごとの開発手法のことで

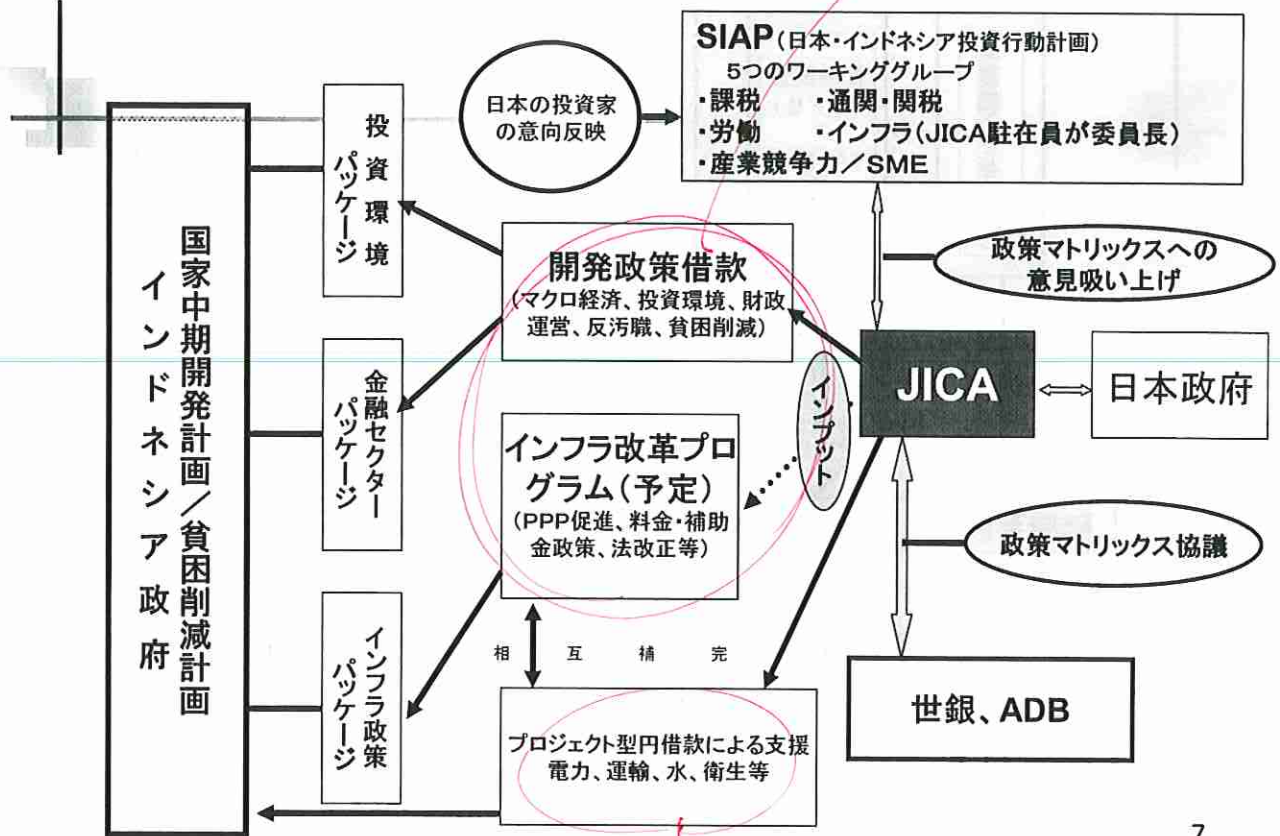
デンスカッション
外務省、JICA総務課
スキームを
はし、い
個別化した

どのスキーム
の方が?
その方向を命じた
ようすりあげてい

!!
現状は、3割ほど
だと、

課題4. 対外発信機能の充実

今後、促進工をせたい部分



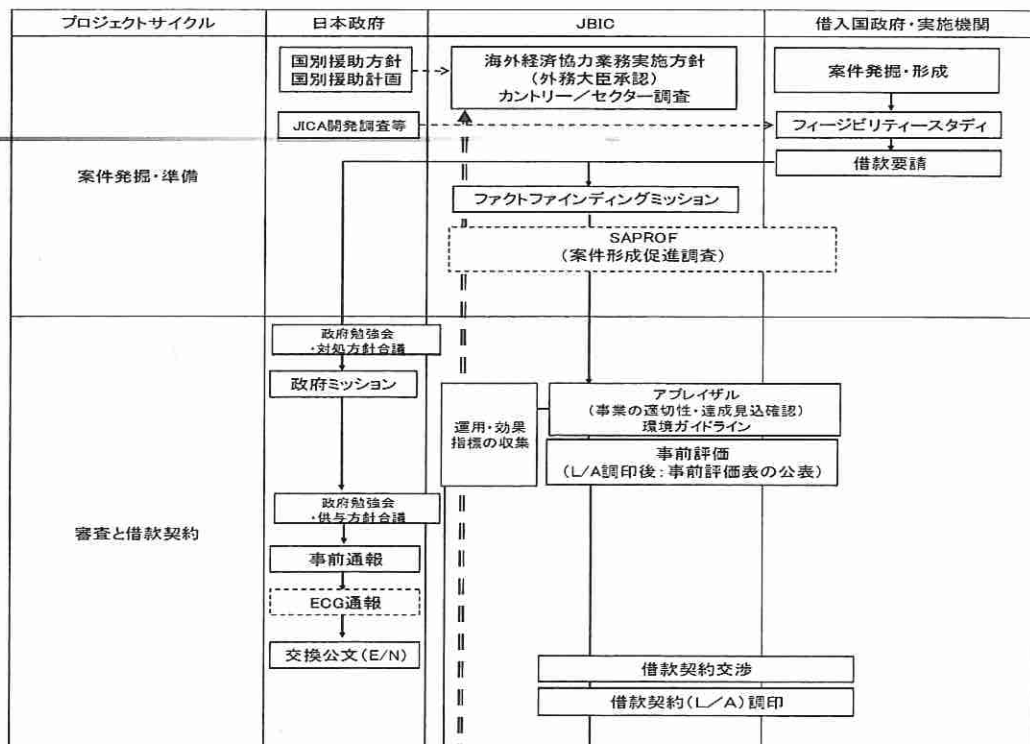
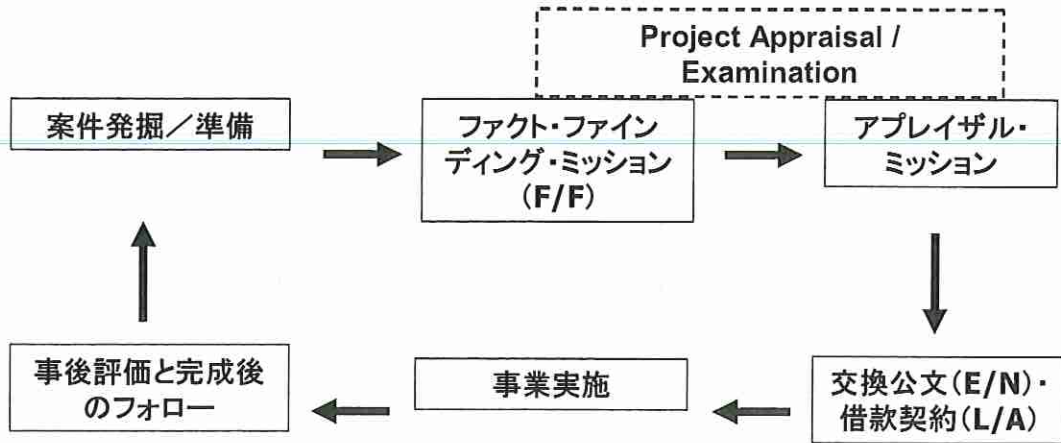
7

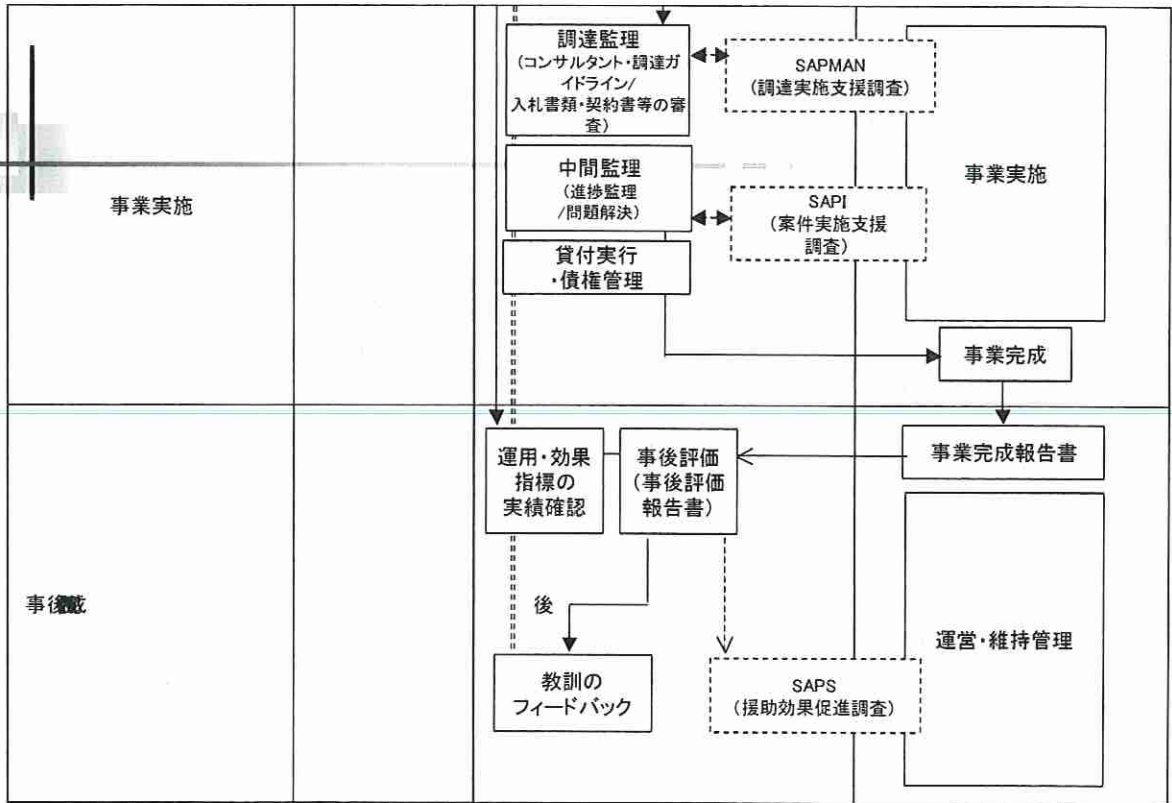
あまでは、これしかやっていない

2. 円借款とコンサルタント

- 案件形成段階：協力準備調査、JETRO F/S等
- 円借款案件でのコンサルティング・サービス
 - 詳細設計、入札書類作成、施工管理等
 - トレーニング等
- 有償勘定による各種調査
 - 有償資金協力調査(SAF)
 - 事業評価(中間レビュー、事後評価、事後モニタリング)
 - 開発政策・事業支援調査(SADEP)
 - セクター調査等

3. 円借款プロジェクトサイクル



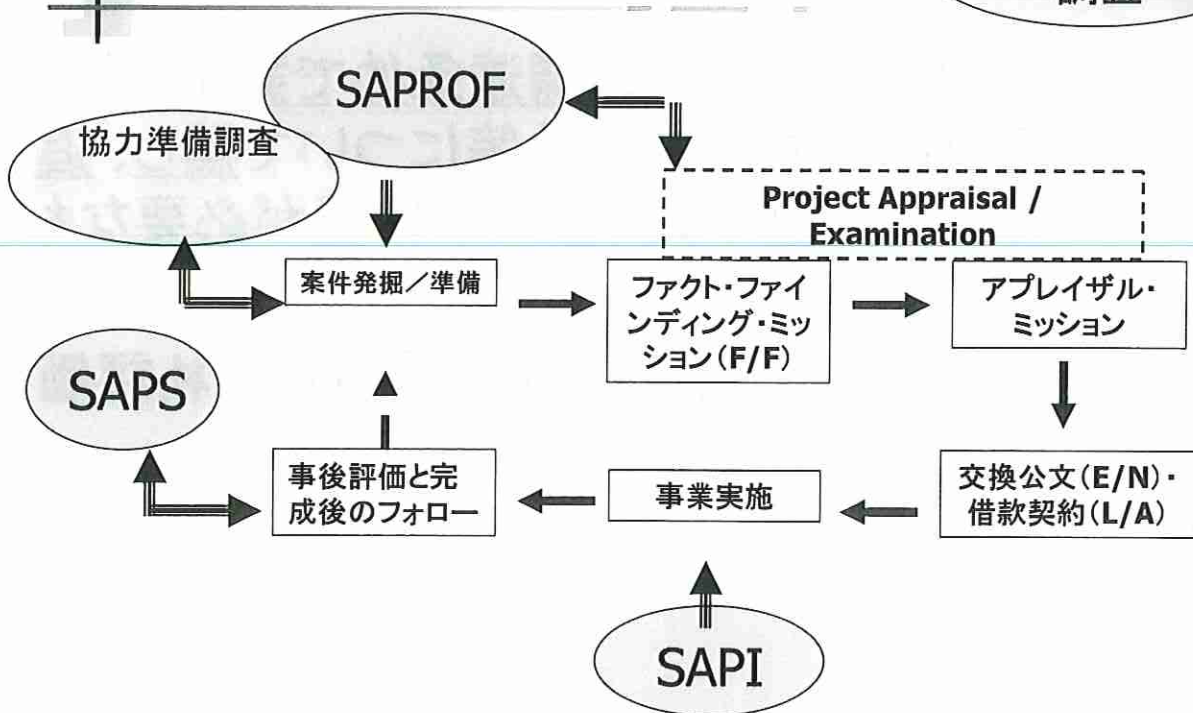


4. 有償資金協力調査 (SAF)

プロジェクト・サイクル	Type of Special Assistance Facility	
案件発掘／準備	協力準備調査/案件形成促進調査 (SAPROF)	提案型調査 (Pilot Study)
	発掘型案件形成調査 (Pilot Study)	
事業実施	調達実施支援調査 (SAPMAN)	
	案件実施支援調査 (SAPI)	
事業完成後のフォロー	援助効果促進調査 (SAPS)	

プロジェクト・サイクルとSAF

提案型
調査



13

(1) SAPROF(案件形成促進調査)

- 対象事業: 相手国から事業の要請又は打診があったが、事業の実施可能性 (Feasibility) を判断するのに必要な情報、資料等が不十分な事業
→ SAPROF実施前でも通常、F/S、プレF/S等は必要
- 調査内容: 需要の見直し、全体計画との整合性、事業費用の見直し、事業実施体制の確認、EIAの作成支援、実施機関の経営能力改善等

14

(2) SAPMAN(調達実施支援調査)

- 対象事業:タイドの調達条件で実施される円借款の対象案件等について関し、追加的・補足的な調査又は措置が必要なもの
- 調査内容:入札書類作成補助・入札評価等調達手続きに係る補助

15

(3) SAPI(案件実施支援調査)

- 対象事業:円借款供与事業のうち、事業目的の達成や円滑な実施確保等を図るために、JICAの知的支援が必要とされる事業
- 調査内容:調達の遅延等に対する提言・支援、事業実施体制強化のための提言等

16

(4) SAPS (援助効果促進調査)

- 対象事業：円借款供与事業で、完成後事業の事業効果を持続させ、又は、一層高めていくために、JICAの知的支援が必要とされる事業
- 調査内容：運営・維持管理体制等の問題点の現況確認及び分析、改善策の検討、実施機関に対する助言・指導

17

5. 円借款におけるコンサルタント選定ガイドライン

(1) 雇用を半ば義務付け

- For the efficient and preparation and implementation of projects, most Borrowers of ODA Loans require the assistance of consultants. (ガイドライン1.01条)
- In most cases, the need to employ a consultant will be established. (ガイドライン1.02条)

合意工事

18

5. 円借款におけるコンサルタント選定ガイドライン

(2) 雇用は借入人の責任

- The selection of a consultant for a project is the responsibility of the Borrower.(同2.01条)

19

5. 円借款におけるコンサルタント選定ガイドライン

(3) コンサルタントは聖職者

- Consultants are at all times to exercise all responsible skill, care and diligence in the discharge of their duties.
海外の場合は最終決定者となる。
責任
努力
- In all professional matters, a consultant is to act a faithful advisor to the Borrower. (同2.02条)
忠実な

20

5. 円借款におけるコンサルタント選定ガイドライン

(4) コンサルタントはJICAに直接アドバイスできる

- In the case of a difference of opinion between the Borrower and the consultant, the Borrower shall allow the consultant to submit a report to JICA. (同2.02条(3))
- JICA may monitor the work (of the consultant) as necessary. (同2.02条)

必要に応じて

法律用語で、～してはかまわない。というニュアンスが入る。

21

5. 円借款におけるコンサルタント選定ガイドライン

(5) コンサルタントの選定

通常3～5社のショートリストを作成し、競争入札。

ただし、

随契が認められる場合(同3.02条)

- 前段階の調査を満足に実施
- 密接に関連した業務を実施
- 指定された業務を実施できる唯一の企業
- その他の理由で最良と認められる

22

変更

5. 円借款におけるコンサルタント選定ガイドライン

(6) 選定の方法

通常はQCBS (Quality and Cost Based Selection)

以下の場合にはQBS (Quality Based Selection)

- コンサルタントのインプットが必要な高度で複雑な事業
- 大規模な事業
- 価格の比較が困難な事業
- 安全管理などが特に求められるもの

(同3.02条)

23

国際的な慣行は、この55.

この
例、
イラクに
対する
円借款
は、この55.
と
必ず、
QBSに
たいして、

5. 円借款におけるコンサルタント選定ガイドライン

(7) 技術プロポーザルの評価

コンサルタント		評価基準	Points(P)
I	TORで示されている分野におけるコンサルタントの一般的経験及び実績 コンサルタントの経験・実績		20
	i)	同様の規模、複雑性及び技術的特殊性を持つ国際的プロジェクトの経験	8
	ii)	同様の状況にある開発途上国	8
	iii)	日本のODAプロジェクトの経験	4
II	提案されたアプローチ、方法論及び作業計画の妥当性		30
	i)	技術的アプローチ及び方法論	12
	ii)	作業計画	12
	iii)	組織・要因計画	6
III	当該業務に配置されるスタッフの経験及び能力		50
	外国		
	i)	Team leader	15
	ii)	Road engineer	7
	iii)	Transport economist	5
	iv)	Environment Specialist	5
	ローカル		
	i)	Road engineer	6
	ii)	Transport economist	4
	iii)	Environment Specialist	4
	iv)	Social Specialist	4
	合計		210

5. 円借款におけるコンサルタント選定ガイドライン

(8) 価格プロポーザルの評価

評価要約表

コンサルタント	技術得点 (T)	加重率 (W)	T×W	金額	価格得点 (F)	加重率 (W)	F×W	総合得点	順位
XXX	68.900	0.8	失格						
YYY	88.480	0.8	70.784	8,500万円	94.118	0.2	18.824	89.608	1
ZZZ	81.720	0.8	65.376	8,000万円	100.000	0.2	20.000	85.376	2

技術: 価格 = 80 = 20.

!! JICAでは、このRCBSを途上国に促進している。

25

今後の方向

無償はこれ以上ない。

何れもか
この経済を学ばせ
大きい視野をもたせ
スベキリストにならせたい

① 借款を重点におく。

② 日本企業の競争力を確保せよ
民間との協働による国益の確保

③ 政策に対して言っている所にはついてほしい
プロジェクトを押し付けて

6. 本邦コンサルタントへの期待

< コンサルタントに求められるもの >

- 語学 (communication)
- 国際機関で通用する力 (competitiveness)
- 事業の組成能力 (finance proposal)
- 事業実施への責任 (responsibility)
- 成果へのコミットメント (commitment)

借款では他国も競争あり。
(IPoolでBBCはなぜ、
フイテンショナルプランニング)

毎1人は
短学は
ないです。

→ 世銀・ADBなど
国際機関といわれ
きたり、ご主人様は
なつてほしい。
国際機関が/がらう
を居いてほしい。
○ コンサルタントはごまか
しにくい。

デリスナクション/ 準備
● JICA (CC → SOC) にJICAと統合し、
2007年よりSOC化した。
- 国内を海外へシフト。
- 英語通訳。
- 若手を育ててほしい。

○ コンサルタントに人材がイザにたつてほしい。
フイテンタルにも強い人になつてほしい。

26